



※コロナ拡大防止対策に伴い、急遽、予定を変更する場合があります。変更の場合は、府中ひかり保育園のホームページに記載いたします。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【支援センター・出前講座、活動時間 ⇒ 午前10時～12時 ・ 育児相談 ⇒ 午前10時～午後4時】

月	火	水	木	金	土
1 《オープン スペース》 会場=支援センター (1歳児)	2 たんぽぽクラブ (登録者)	3 《赤ちゃん広場》 会場=支援センター (0歳児)	4 《オープンスペース》 会場=支援センター (2歳児以上)	5=出前講座 “広場ひかりっこ” 東地区センター (0~2歳児)	6 
8 《オープン スペース》 会場=支援センター (1歳児)	9 たんぽぽクラブ (登録者)	10 《赤ちゃん広場》 会場=支援センター (0歳児)	11 《オープンスペース》 会場=支援センター (2歳児以上) 相談員：片木先生来所 (臨床心理士)	12 たんぽぽクラブ (登録者)	13 
15 《オープン スペース》 会場=支援センター (1歳児)	16 たんぽぽクラブ (登録者)	17=出前講座 <u>すくすくスクエア</u> “広場ひかりっこ” 会場=府中小学校留守 家庭児童館3階 (0~2歳児)	18 園庭開放 ※雨天中止	19 ツバキの つぼみの会による 「絵本読みの会」 (0~2歳児)	20 
22 《オープン スペース》 会場=支援センター (1歳児)	23 たんぽぽクラブ (登録者) 終わりの会	24 《赤ちゃん広場》 会場=支援センター (0歳児)	25 《オープンスペース》 会場=支援センター (2歳児以上)	26 	27 

《オープンスペースとは?》

- * 水曜日(0歳児)・月曜日(1歳児)・木曜日(2歳児以上)を対象として、支援センターを開放しております。
- * 事前予約はしていませんが、現在は“コロナ感染症対策”のため、人数制限をしております。
- * 府中町以外の方はご遠慮ください。

☆お知らせ☆

◎3月26日から4月5日まで、支援センターはお休みです。

・4月6日(火) オープンスペース (1歳児) ・4月7日(水) 赤ちゃん広場



◎第1期「たんぽぽクラブ」(毎週火曜日)の申し込みを行います。3月11日(木)午前9時30分より受付をします。ご希望の方は、電話、又は支援センターに来て直接申し込んでください。



対象児：2歳3ヶ月以上 会費：3,000円(13回)

定員になり次第、締め切りますのでよろしくお願いいたします。(定員15組)

“幼稚園”“保育園”へ入園される方、おめでとうございます。

お子さんが園生活に慣れるまで、大変だと思いますが、どうして泣くの、どうして嫌なのよ、どうして、どうしてよ、とお子さんを責めないで暖かく見守ってあげましょう。そしてお迎えの時はしっかりお子さんを抱きしめてあげましょう。

きっと、お子さんは必ずお母さんが迎えにきてくれるという安心から園生活を楽しむことができるようになります。



《みんな、ほんもの!》
詩：相田みつを

いいですか、いくらのおろくてもかまいませんよ!
たいせつなことはね いつでも前をむいて自分の道を歩くことですよ!



保健だより **ごえんの予防!** (看護師: 田辺記)

ごえんとは? 食べ物の飲み込みがうまくいかず、気管にはいってしまふことです。

◎ごえんすると: 窒息による命の危険があります。

食べ物を除去しても、誤嚥性肺炎や低酸素脳症による障害が残ることがあります。

※危険な食品

【あめ、ナッツ、ぶどう、りんご、ポップコーン、ガム等】

◎予防: 食べやすい大きさに切る。特にぶどうやミニトマト

: 食事に集中できる環境を作る。

: 食べながら歩いたり寝転んだりしない。

: 口の中に食べ物が入っているときに大声で呼んだり、驚かせたりしない。

◎対処方法: 咳が出ている時は、吐き出すのを待つ。叩いたり、のどに手を突っ込むとさらに奥に入る恐れがある。

: 声が出ない、咳き込んでも出ない時は、救急車を呼びつつ背中を叩いたりみぞおちを上方に圧迫したりする。

: 意識がない時は心臓マッサージをして脳に血液を送る。

♥新聞投稿欄より♥

*幼稚園の担任から「5歳になった子どもがお友達を叩いて困る」と言われ、子どもに「どうして友達を叩くの、痛いでしょう」と子どもを強く叱った。すると子どもは「どうして叩いてはいけないの、ぼくいつもお父さんから叩かれているよ」と答えが返ってきた。それを聞いていたお父さんは強く反省し言葉で伝えるようになった。

《親を見て子は育つ》ですよね!



コロナ禍、手洗い・消毒・検温を忘れずに、三密を避けて遊びましょう。

一人一人、気を付けましょう。



「ごっこ遊び」は心の発達を促す

【ヴィゴツキー学者著書「教育心理学」より引用】

乳幼児期の「ごっこ遊び」は発達に欠かせない遊びとされています。遊びを通して「他者の気持ちを推し量る能力、心を読む力」を培います。

「心を読む力は」2歳になるころにはすでに芽生え始めているそうです。「ごっこ遊びを」を通じて、子どもは他人の気持ちを予測するスキルを身につけ、さらに自制心を高めていくのです。幼児期のうちに語学や算数を教えることは悪いことではありませんが「他者の気持ちを推し量る能力」心の発達には「遊び」が必要です。子どもにとって「ごっこ遊び」は成長のための素晴らしい体験となるでしょう。

【絵本に親しみましょう!】

: 個人差はあるものの、1歳児くらいになるとポツリポツリと単語を話し始めるようになります。話す以上に聴く力も発達してきます。この時期に、できるだけたくさんの言葉を聞かせてあげると豊かな表現力が身につくやすくなるので、お子さんの成長のために、ぜひ積極的に絵本の読み聞かせをしてあげましょう。1歳ごろの子どもは、言葉を発するのがうれしい時期。まわりの色々なものに興味生まれ、好奇心を持つようになるのもこのごろの大きな特徴です。ぜひ、たくさんの絵本との出会いを作ってくださいね。

～絵本の紹介～

『ごぶごぶ ごぼごぼ』 こまがたかつみ 駒形克己 さく

『くだもの』 平山和子 さく



「ぷーん」「ぷくぷくぷく」「ぷぷぷ」などの音(言葉)の響きやリズムの楽しさを色鮮やかな丸の動きや、ちょっとしたしかけを使って表現されている何とも不思議な魅力の絵本です。

赤ちゃん向けに分類されていますが、年齢に関係なく楽しめて想像が膨らむ絵本です。



まるで本物のくだもののように描かれている絵本です。「どのくだものが好きかな?」「さあ どうぞ。」などと言いながら、親子でやり取りを楽しめるのではないのでしょうか。身近なものなので、子ども達にも親しみやすい絵本です!!

地域子育て支援センターは!

触れ合い遊びを楽しみ、育児不安等の悩みを気軽に相談したり、心身共にリフレッシュできる、乳幼児親子参加型の“集いのひろば”です。ひろばに参加したら携帯・スマホはしまってお子さんとしっかり遊びましょう。

《みんなで目指しましょう!》

- ① 笑顔でつなぐ子育て仲間の輪を作る。
- ② たがいに高めあう育児力をつける。
- ③ 子どもも親も育ちあう喜びを実感する。



【育児相談】 片木先生(臨床心理士)

3月11日(木)に來られます。

*こんな相談してもいいのかな?と思わないで!

: 予約も受け付けています。

毎週月曜日～金曜日 午前10時～16時

: 育児アドバイザーが随時、電話相談、面談相談を受け付けています。オープンスペースでは支援センタースタッフが相談を受けます。内容は堅く守られます。お気軽にお声をかけて下さい。

(いずれも無料です)